

第36回

名古屋大学附属図書館友の会トークサロン

# ふみよむゆふべ

## 民俗映像の記録と活用

- 奥三河、花祭の継承支援と地域連携の現場から -  
かたり：佐々木 重洋（文学研究科准教授）

「テーホへ、テホへ」のかけ声とともに、巨大な鉞を手にした鬼が現われる場面が有名な花祭。そういえば毎年、11月頃かそのあたりに、新聞でそのような写真を目にしたことがある、という方も多いかもしれません。古くは折口信夫、柳田国男、澁澤敬三などを次々と魅了し、民俗芸能界にあっては押しも押されぬビッグネームですが、いっぼうで、ガイドブックなどで「山間集落に伝わる奇祭」などと紹介されることもあるこのお祭り、皆さんはご存知でしょうか。

この花祭が今、過疎化と高齢化によって継承の危機に直面しています。そこで現在、私は花祭保存会や奥三河地域の関係自治体、地域の方々と連携して、このお祭りの継承支援に取り組んでいます。その際、正確な記録資料は継承に役立ちます。ただし、花祭のような「無形」のものと記録資料の関係は難しいところもあります。では、どのような資料を記録し、それらをどのように活用すればよいのでしょうか？今回は、花祭の動画資料を中心に、資料の記録と活用を、花祭の未来をともに考え、これを継承していくための、さまざまな立場のアクター間の相互対話の起点として活かす方法についてお話します。また、私たちが完成をめざしている「花祭デジタルアーカイブス」構想についてもご紹介します。



2015年7月7日(火) 午後6時～

名古屋大学中央図書館2階ビブリオサロン

参加無料  
申込不要  
会員以外の方も  
歓迎します

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3666

FAX 052-789-3693

E-Mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

(後援)

名古屋大学附属図書館,  
同研究開発室

